

2021年
新春号
1,2月

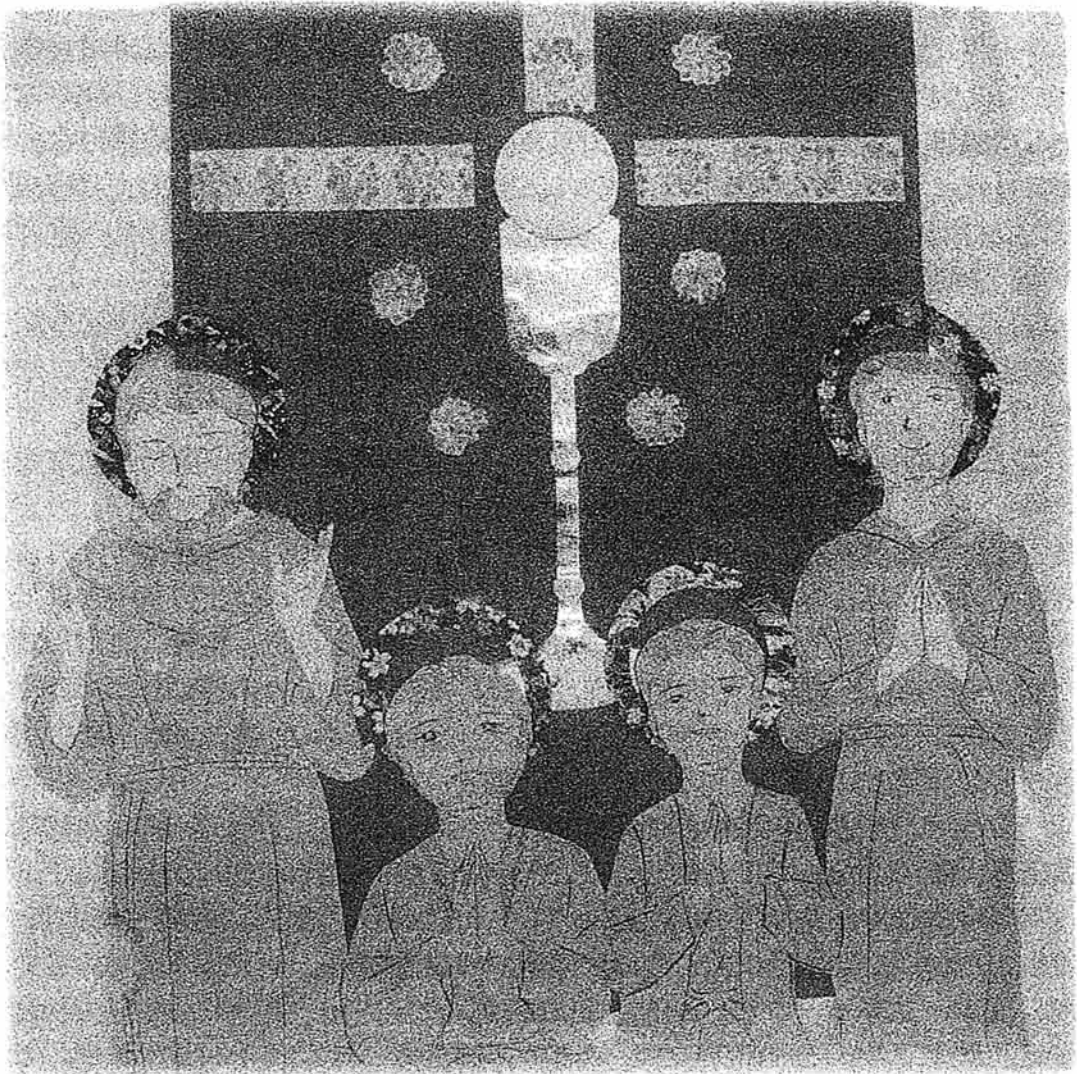


カトリック 笹丘教会 だより

No. 0098

こみち

命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだすものは少ない。(マタイ7・14)



苦しみの中で見出す愛の神



主任司祭

ペトロ・フランシスコ 遠山 満

先日、クロアチア人の友人が催してくれた、ズームによるロザリオの祈りの集いに参加させてもらいました。その時、その友人が語った、ロザリオに関する思い出は、とても印象的でした。彼の国、クロアチアは、旧ユーゴスラビアから分かれた一つの国です。クロアチアが、まだユーゴスラビアだった時代、国は、共産主義政権によって治められていましたので、カトリック教会に対する迫害は、過酷を極めていました。カトリック信者は、カトリック信者であると言う、その理由だけで、苛めを受けました。共産主義政府は、彼らが信仰を失うように、あらゆることをしました。彼が、徴兵制に従って、兵役の義務を果たしていた時の事です。カトリックの信徒たちは、一つの兵舎に集められ、そこで就寝しなければなりませんでした。その兵舎は、冷暖房の設備のない建物でした。冬場、外気温がマイナス 10 度を下回る中、彼らは、そこで夜を過ごさなければなりませんでした。大変な苦しみだったことでしょう。その時、彼は、仲間を誘って、皆でロザリオを唱えたのだそうです。それによって、「心が温まった」と彼は語ってくれました。共産政権は、彼らが信仰を失うように、そのような事をしたのですが、かえって彼らの信仰を強める事になってしまいました。

私は、彼の体験を聴きながら、ヘブライ人への手紙の次の一節が頭に浮かんで来ました。『わが子よ、主の訓練を軽んじるな。主に責められる時、力を落とすな。主は、愛する者を訓練し、子として受け入れる全ての者を鞭打たれる』。あなた方は、これを訓練として耐え忍びなさい。神は、あなた方を子として扱っておられるのです。父が訓練しない子がいるのでしょうか。中略。どんな訓練でも、その時は、楽しいものではなく、むしろ苦しいものに思われますが、後になると、この訓練は、それによって鍛えられた人々に、義と言う平和の実をもたらします」（上掲書 12 章 5～7、11 節）。

ところで、私達の信仰生活の現状は、どうでしょうか。苦しみの中、信仰は、面倒臭いものになっているのでしょうか。信者に求められる奉仕の務めなど、「やっつけられない」と言う心境でしょうか。それとも、熱心に神様を求めているのでしょうか。この世界には、私達を神様から引き離そうとする力が働いています。旧ユーゴスラビアで、共産主義政権が、カトリック信者の信仰を失わせようとしたように、この世界には、私達の信仰を失わせようとする力が働いています。そのような力に、対抗していく事が出来ますように祈りましょう。苦しみの中でも、愛である神様の御手を見る事が出来ますように、共に祈りを捧げて参りましょう。

カトリック笹丘教会 役員会議事録

開催日時：2021年2月14日（日）14：00～16：00

開催場所：信徒会館

出席者：遠山神父、川原、辻部、前田、田川、菅、畠山、川原（圭）、喜多村、牧山

欠席者：井口 司会：川原 書記：牧山

議題

1. 当面の課題

(1) 四旬節～復活節

①枝の準備

来年の灰を準備するためにも、緊急事態宣言の延期如何に拘わらず、枝は準備をして信徒に持ち帰ってもらうようにする。

②黙想会

できるかどうか不透明だが、指導司祭の打診は行う。（遠山神父様）

(2) 役員選考について

公開ミサ再開に合わせて日程調整し、グループ毎の集まりを再開する。総会は役員候補が出揃ったところで日程を検討する。

(3) 設備点検、更新、購入等が必要なもの

①ホールエアコン ②信者会館廊下のコンセント ③聖堂の排煙窓

④ホールのカーテン ⑤ホールの椅子 ⑥枝の粉碎機

2. 教区ビジョンについて

教区への提言提出期限変更 3月28日（教区報2月号参照）

アベイヤ司教様が9月までに「教区宣教司牧ビジョン」を発表の予定

3. その他

○3月20日（土）福岡教区ジョン助祭の司祭叙階式 大名町教会

○3月21日（日）長崎教区西田助祭の司祭叙階式 信者会からお祝いを準備する。

○5月23日（日）アベイヤ司教様 笹丘小教区公式訪問

○連絡網を使って連絡する体制を、教会事務担当も交えて検討する必要がある。

○訃報が入った時の対応について検討が必要 （以上要旨抜粋：川原）

~~ 巡礼の旅の思い出 ~~

— その3 —



マリア・マグダレナ
草留 由貴子 (11班)

「— その2 —」では、5日目までの旅の記録でしたが、聖書の中に、少しでも入って頂けたでしょうか？今回は、後半の6日目から最終日10日目までの記録です。



ヨルダン川

6日目にはヨルダン川へ。イスラエルとヨルダンの国境にあり、死海へ注ぐ細くて長い425 kmの内陸の河川です。

洗礼者ヨハネがイエズス様に洗礼を受けた場所ですが、想像していた川とは違い驚きました。川はすごく淀んでいて、水深も浅く、対岸のヨルダンに飛び越えて行ける程の川幅でした。しかし、川の中で洗礼の儀式が行われている光景を目の当たりにして、本当に神聖な川なのだと感じました。

湖底の塩の結晶の実物



エンボケックの町から、死海が望めました。塩分濃度が30%と普通の海水の約10倍で、生物が生息できないことから「死海」と呼ばれているそうです。海ではなく塩の湖で、湖底は塩の結晶で埋め尽くされています。裸足で歩こう

ものなら切傷だらけになるでしょう。浮いたままで本を読んでいる写真をよく見かけますが、まさにその通りで、だいぶんポツチャリの私も立つのも難しいほどプカプカ浮き、参加者みんなでわいわいとはしゃいで楽しいひと時でした。



死海



前夜にお祈りされた場所
イエズス様が台に伏してお祈りされている 石の浮き彫り

エルサレム近郊のオリーブ山に行きました。オリーブの木が沢山植えられていて、麓にはゲッセマネの園があります。イエズス様がユダに裏切られた場所で、イエズス様が十字架につけられる前夜にお祈りされた場所でもあります。イエズス様は、どの様な思いでお祈りされていたかと想像すると胸がいっぱいになりました。



エルサレム

イスラエルの首都エルサレムの街に入りました。標高約800mで、ダビデ王都に定められた、4000年の歴史を持つ町で、世界の三大唯一神宗教の聖地とされています。

ゴルゴタの丘、聖墳墓教会。イエズス様のお墓を包み込んで建てられたといわれる教会。ここで、イエズス様が十字架につけられました。次のページで紹介する十字架の道行きの10留～14留までこの中にあります。

イエズス様のお墓を中心としたキリスト教の各宗派の聖堂や礼拝堂が集う大きな教会です。

イエズス様の
十字架が
たてられた場所





イエズス様が背負った
同じ大きさの十字架

お墓の脇には、イエズス様のご遺体を横たえたとされている「塗油の石」があり、訪れた信者の方々が触れたり接吻などをしてお祈りを捧げていました。その石は、角がないほど、滑らか形状になっており、どれほど多くの信者の方々が祈りを捧げてきたのかと歴史を感じることができました。私も一人の信者としてここで祈りが出来たことは、心に深く刻み込まれた時間でした。

エッケホモ教会 プラトから
'この人を見よ'と言われた場所



十字架の道行き 2 留



十字架の道行き 8 留



塗油の石 (13 留)



聖墳墓教会の中心に
あるイエズス様のお墓
(14 留)

十字架の道行きは、この聖墳墓教会を終着地としてエッケホモ教会（イエズス様が裁判を受けた場所）から始まる街の中の曲がりくねった 1 km の道のりです。別名ヴィア・ドロローサ「苦難の道」とも称され、イエズス様が十字架を担ぎ歩み出した 1 留からお墓に納められるまでの 14 留を巡礼しました。順を追うことに、イエズス様と同じ道のりを歩んでいることに現実味を感じないままイエズス様への想いが感慨深く、思わず涙が溢れてきました。

ベツレヘム聖誕教会。イエズス様がお生まれになった洞窟の上に建てられた教会で洞窟を覗ける穴があり、その穴には銀の星型がはめ込まれていました。穴を覗きながら、ここでイエズス様が降誕され、すべてが始まったのだと胸にこみあげるものがありました。



嘆きの壁

その他にも有名な「嘆きの壁」「マリア様の永眠教会」「最後の晩餐の部屋」「イエズス様がとらわれた牢獄」「鶏鳴教会」他等沢山巡礼しましたが全てを紹介できず申し訳ございません。次回はイスラエルの食事、街並み、ホテル、風習などの感想をご紹介します。

— 次回につづく —

祝新成人 1月10日



今年の新成人はコロナ禍のため、今までにない不自由な成人式を経験しなければなりません。今年、笹丘教会の新成人は11名。そのうち4名の新成人の顔を見ることができました。

新成人の皆さんそれぞれどのような状況下でも、神様は必ず導いて下さいます。信じて前進しましょう。



祝福の授与



記念品の贈呈



小さきテレジア
山口愛さん

ベルナデッタ
小林倫香さん

ミカエル
空閑竜乗さん

洗礼者ヨハネ
藤村一成さん



・これまでの自分への愛情に感謝します。まだまだですのでこれからもよろしくお願いします。

・宮崎で頑張っています。

・就職しています。

・自分の行動に責任をもつことの大切さを益々自覚しました。

・このようなコロナ禍で、家でできることを精一杯やっています。



ご家族とご一緒に おめでとうございます！！

マスクを外して
記念撮影





「レジオマリエ」をご存じですか？



第14回

早いもので、ご降誕を無事に迎えることができた喜びに浸ったのも束の間、新しい年を迎えて間もなく、再び緊急事態宣言の声を聞くことになりました。感染者数に一喜一憂しながら2月になり、17日は灰の水曜日です。史上初のミサ中止から約1年…。

この1年、教区長の司教様方や各小教区の主任神父様方、教区事務局の神父様や各小教区の教会役員さん方は、感染者の数字や政府の見解などを確認しつつ、ミサを始め、四旬節、待降節などの典礼や教会行事をどういうふうにやっていか頭を悩ませながら過ごされてきたことでしょう。信徒の私たちも、ミサ中止の間は、お休みをもらったような気持ちになりつつも、それが続けば、そこはかたない不安を感じたり、ミサ再開の知らせを聞くと、安堵感とうれしさが入り混じった気持ちになったりと、落ち着かない気持ちで過ごしてまいりました。

昨年2月末、いろいろな人にミサ中止の連絡の電話をしている時、ある方に、「神様は、この状況を通じて私たちに何をおっしゃりたいのだと思う？」ときかれました。突然の哲学的かつ神学的な質問に面食らい、とっさに、「渦中にいる時は、まだわからないのでは？」とお答えしましたが、1年くらい経つと、おぼろげにその答えの1つがわかってきたような気がします。女性や非正規雇用者を中心に、仕事を失ったり、このような状況に絶望して命を絶ったりする人たちが増加してきて、これまでも問題視されることはあったけれど、コロナ禍でより多くの方がその問題点に気づくようになりました。見過ごしてきたり、見えていなかった問題が見えるようになったことは、神様が私たちに知らしめたいことではなかったかと思います。

また、感染拡大が始まった昨年は、感染症に罹らない罹らせないための方法を模索する1年でしたが、今年は、ワクチン接種も始まり、ウイルスと共存しながら活動するための方法を模索する年になるのではないかと、思います。私たちレジオ会員も、ご復活への希望を持ちながら、集まることはできなくても、気持ちを合わせて祈りつつ、四旬節を過ごしていきたいと思っています。

2月3日の「福者ユスト高山右近殉教者」の記念日にちなみ、『右近と歩む祈りの旅』から印象に残った個所をご紹介します。

イエスの福音を前に右近の生涯を観想するとき、キリストの三つの神秘に抱かれていることがわかります。わからないこと、消化できないことは、キリストの神秘と重ねて想うのが信仰者の知恵です。三つの神秘とは、一つ目は、自ら選ぶことのできない「出会いの神秘」です。二つ目は、人生の大半をしめる「苦しみの神秘」です。そして最後に、すべてが終わったかのように見える闇と沈黙から生まれる「復活の神秘」です。(2021.2.16 灰の水曜日の前日に)

私の聖人・好きな聖人

洗礼名や、堅信名で女性の方に“マリア”が入っている方は多いと思います。マリア様、〇〇のマリア様など、マリア様のように信仰生活を過ごせるよう、想いを込められていると思います。

わが子にもマリアが入っている洗礼名、マリア・ヨゼフィーナ(堅信名マリア・ファウスティナ)と付けました。マリア様のように、イエス様を信じ、ともに生きていく姿は素晴らしく、日々の生活に追われて祈りの時間がとれない時などは、マリア様もイエス様が子供の時は忙しく過ごしたのかな?と想いを馳せます。——本当は洗礼名に関係なく、マリア様を手本とする生き方ができれば良いのですが、私にはまだまだ遠い道のりです。

マリア様を愛する全ての方の中に、マリア様が居られると信じて、四旬節を迎えられますように。

M・S

◎原稿は常に募集中です。信仰のルーツ、伝える喜び、霊名の由来や好きな聖人、その他今この現状で日々感じている事など、形式は自由です。皆さんの積極的な投稿をお待ちしております。共に分かち合いましょう。

[投稿 s-2015060493003@ar.wakwak.com 迄]

【編集後記】

私達キリスト者は、聖書にある通り、神と人を愛する様に招かれている。だが、なぜ自分はそのくらい程遠いのだろう。真に人を愛することは痛みを伴う。自分を守りたい(傷つきたくない)という気持ちがある、愛を遠ざけているのかもしれない。

イエス様の十字架は、愛の全てを表している。自分を捨て、全てを天の御父に委ねられたイエス様。最後の御血の一滴まで与えつくされ、完全な愛をもって、いつも私達を見つめ、共にいてくださるイエス様。イエス様の愛に少しでも近づいていける様、聖霊の助け、聖母の執りなしを願いたい。(A・S)

発行 カトリック笹丘教会 広報委員会

〒810-0034 福岡市中央区笹丘 1-16-1 Tel 092-761-4504 fax. 092-761-4524